「履歴書」・「業績目録」の記入要領

＜履歴書＞

履歴書について……（様式1）

１）西暦年で記入してください。各項目が網羅されていれば枠の広さ等は自由です。

２）年齢は、履歴書作成日現在の満年齢を記入してください。

３）学歴欄には高等学校卒業以降（大学院の場合は単位取得、学位を有しない場合は退学まで）のすべての学歴を記入してください。

４）免許欄には医師・歯科医師等業務に関連する免許証登録番号及び登録年月日を記入してください。

５）学位欄には学位名、取得大学名、学位番号及び取得年月日を記入してください。

６）職歴・研究歴欄には、職歴と研究歴のすべて（国外留学、国内留学を含む）を順次記入してください。

７）賞罰欄には、大学、学会、公的団体等からの受賞（学術奨励賞、研究奨励賞など）と受賞年も記入してください。

８）主たる所属学会及び役員欄には、現在所属している学会名、役職等を記入してください。
（例）○○学会会員、評議員、理事
国外における所属学会（国際学会含）で active　member は証明書を添付してください。

９）主たる学会認定医・専門医等欄には、日本医学会に含まれる各学会で取得した認定医、専門医資格などを記入しそれぞれ取得番号を付してください。

１０）申請者の情報欄には、researchmap の URL などを記入ください。

１１）教育歴のある方は、a 今年度の担当講義時間のほか、教育業績、学内外の教育関連の役職、FD やワークショップ等の参加歴、b 医療安全・感染症・個人情報保護・研究費・研究倫理の研修会参加歴、研究倫理研修（eAPRIN、ない場合は eAPRIN 以外の研究倫理研修）の受講の有無、また、厚生労働省認定の指導医講習会の参加歴を併せて（様式１－２）に記入してください。

＜業績目録＞

業績目録は、別記様式を遵守し、Ⅰ）著書、Ⅱ）学術論文（原著、総説、症例報告、その他の学術論文)、Ⅲ）学術刊行物（研究報告、その他の学術刊行物)、Ⅳ）学会及び研究会発表（ａ．国際学会、ｂ．国内学会、地方会及び研究会)、Ⅴ）受領した競争的研究助成金、Ⅵ）学術関連広報活動及びその他に分類し、それぞれ別葉とします。各様式の(注)にならい、最近の年次から順に西暦年で記入してください。記入方法について特に指定のない場合は、すべて記入してください。各項目順に枠を設けてもかまいません。

Ⅰ）著書について……（様式2）

単行本、叢書、また分担執筆（辞書、全集なども含む。)、翻訳、編集及び監修等を記入してください。分担執筆は、分担題名を記入し、頁はその該当する頁のみを記入してください。（同一著書内での複数項目の分担は合わせて**１冊**とし、２項目からは分担題名、頁のみ記入）

Ⅱ）学術論文について……（様式3）

①原著、②総説、③症例報告、④その他の学術論文に区分し、英文・和文別に記入してください。

①原著：学術誌に掲載された独創的な内容の学術論文で、他の学術誌に掲載されていないもの。

②総説：展望などを含み学術誌に掲載されたもの。

③症例報告：学術誌に掲載された症例報告

④その他の学術論文：短報、レター、図説、臨床治験及びプロシーディング等で学術誌に掲載された論文

※なお、ここでいう学術誌とは Index medicus、Science Citation Index あるいは医学中央雑誌に登録されているか、レフェリーシステムを有する権威ある学術雑誌（商業誌を含む。）です。

※共著の場合は全著者名を記載し、その上で応募者氏名に下線を付すこと。

※応募者がコレスポンディングオーサー（責任著者）になっている場合は、応募者氏名に二重下線を引くこと。

※共同筆頭著者は*（アスタリスク）を付すこと。

※投稿中の論文は記入しないでください。(印刷中のものは認めますが、「in press」と表記し掲載証明の添付を要します。

※英文論文の場合は最後にインパクトファクター【最新版（2026 年発表）Journal Citation Reports 掲載】を記入してください。

(記入例)　発表誌名，発表年，巻：初頁～終頁，（IF　○○．○○○）

Ⅲ）学術刊行物について（レフェリーシステムの有無を問いません。）……（様式4）

①研究報告、②その他の学術刊行物別に記入してください。

①研究報告：公的機関刊行物、またはこれに準ずる各種学術団体及び委託研究の成果報告で、論文形式（はじめに、方法、結果…）を整えたもの（前述 Ⅱ）の④以外のプロシーディングを含む。）

②その他の学術刊行物：教育、解説及び医学講座、ガイドライン等
共同執筆者の記入方法については、Ⅱ）の共同執筆者の記入方法と同様とします。

Ⅳ）学会及び研究会発表について……（様式5a・様式5b）

ａ国際学会、ｂ国内学会、地方会及び研究会別に用紙を分け、さらに①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等、③共催セミナー等に分類し記入してください。共同発表者の記入方法については、Ⅱ）の共同執筆者の記入方法に準じます。20 編以上ある場合は、代表する 20 編を記入し、最後にその他何編と記入してください。

Ⅴ）受領した競争的研究助成金について……（様式６－１～様式６－３）

①代表者である研究助成金は様式 6-1 に、分担者は様式 6-2 に入力してください。
②新しい年度から順に記入してください。
③助成金種別はプルダウンメニューより項目を選択してください。
④様式 6-3 は様式 6-1 及び 6-2 の内容を集計するものです。編集の必要はありません。

Ⅵ）学術関連広報活動及びその他

学術関連広報活動は、マスメディア、セミナー及び年報など業績として記録しておくにふさわしい活動を記入してください。

※所定用紙はありませんので、自由に作成してください。

Ⅶ）診療実績について……（様式7）

2023 年 4 月から 2026 年 3 月までに携わった診療件数を記入してください。
専門領域における経験した疾患症例数及び内容を記載しご提出ください。

※乳癌診療について、〔１〕薬物療法、〔２〕手術、〔３〕形成外科との連携実績を記載してください。

※枠は適宜、追加（削除）していただいて構いません。

※なお、指導的助手は、カンファレンス等での助言や指導は含めず、手術室内において実際の手術指導を行ったもののみを対象とします。

Ⅷ）手術記録について

上記手術のうち、術者としての代表的な手術記録のコピー10 件を提出してください。
（患者氏名、性別、生年月日等個人を特定できる情報は消去してください。）

※コピーはＡ４版でお取りください。

※ご提出いただいたコピーは選考以外の目的に使用いたしません。

※なお、ご提出いただいた手術記録の中から、ビデオ講演をしていただく場合がありますので、その点ご留意ください。